

すばる

HPの充実

白岡市立南中学校
校長室通信
平成27年4月17日

No.4

まだみなさんに示していないが、校長の自己評価シートには「ホームページ（以下HP）の充実」を掲げている。それはなぜか。ひとことでいえば学校が持っている生徒の情報（活動）を保護者・地域と共有するためである。

現代では特に、学校教育といっても学校だけで完結できない。家庭から協力を得られてはじめてスムーズに教育活動が展開できる。協力を得るためには学校を理解してもらうことが第一に重要だが、なかでもその情報は正確であることが求められる。一昨年、竜巻被害の後だったと思うが、学校は何をやっているのだと、ものすごい剣幕での電話があり（内容は伏せておく）、驚いたことがあった。学校批判の内容自体が全く理解できなかったからである。原因をたどるとそれは保護者のLINEの中での噂話だった。“噂”が“事実”とされ、連絡をしてきたのだった。もちろん、丁寧に説明して誤解を解いた。むしろ連絡をしてきてくれたから説明の機会が得られて、事なきを得たのだった。



●●先生方をお願いしたいこと●●

・写真や活動の情報の提供

決められた場所にできるだけ早く。情報は“生もの”と思って…

・広報活動 機会あるごとに宣伝してください。

・先生自身も1日1回の「ポチッ」

・おまけ

「ふれあい通信」を利用して簡単にアップできるようにする（予定）ので、部活動や生徒会活動の様子を新しいページとして作成してもかまいません。基本情報は作成しておくので、それ以上を目指すなら、そこからのリンクで。

では、誤解を受けるくらいなら発信をしないという選択肢はあるのか？自分の経験だが保護者や地域との連携がうまくいかない場合、その原因は学校と保護者や地域双方の、どちらかが悪いというのではなく、むしろ、どちらもがんばっているのだが、それぞれが互いの活動を知らないがために理解し合えない面がある。知らない、わからないことは不安感を高ぶらせ、結果として不信に

つながりやすいものなのだ。もともと無条件で学校が信頼されると考えること自体が今の時代では夢物語である。

それなら…ということで情報に関するイニシアチブを学校がとり、学校の活動情報を積極的に発信する方がよいとなる。適切な情報を適切に発信すればそれに見合った印象が作られていく。ときどき、レイアウトも内容も取り上げ方もイロイロなHPを見ることがあるが、それではまとまりのない印象を持たれる。“みんなで作る”は素晴らしいことだが、それがバラバラではよくない。

見てくれる人数も無視できない。効果を大きく左右するからである。受け止めてもらうことが大事だから、生徒の活動の様子を基本として、更新頻度を上げ、見やすくする（スマホにも対応する）工夫をしようと思う。校長室通信まで掲載しているのは調子に乗りすぎだが（笑）、学校の方針を理解してもらうためでもある。先生方の意見も頂戴しながら、変化のある南中学校HPを作っていきたい。

